


当別ふれあいバスの確保・維持に関する多様な取組み

当別町、当別町地域公共交通活性化協議会、有限会社下段モータース、一般社団法人北海道開発技術センター



当別町の概要

地理 札幌市と境界を接し、札幌都心部から約15～25kmに位置

人口 18,701人(男性:9,069人 女性:9,632人 世帯数7,787)
〔平成22年10月1日当別町統計データより〕

地域交通

- 民間送迎バス(医療系大学・特定の地域住民のバス)と路線バス・福祉バスを一元的に管理することで、路線・ダイヤの効率化を実施
- 一元管理により、これまで単独で運行をおこなっていた民間事業者及び自治体の経費の圧縮に貢献。

3 各種MM施策を継続的・多面的に展開

平成17年度より、住民MM・学校MM・ニュースレターの発行、バス利用者感謝ツアー・バスまつり・バス車内展示会・子ども定期券の販売等のMM施策を継続的・多面的に展開しています。

●幼児向けMM

- 実施期間：平成23年度～
- ・幼児向けに紙芝居を作成し、保育士が実演。



●小学生向けMM

- 実施期間：平成17年度～
- ・低学年には交通すごろくを実施。
- ・高学年にはアドバイス法や行動プラン法を実施。



●大学生向けMM

- 実施期間：平成21年度～
- ・大学の新生入学生を対象。
- ・個性の高いバスマップを作成。



●大人向けMM

- 実施期間：平成23年度～
- ・アドバイス法や行動プラン法を実施。



●高齢者向けMM

- 実施期間：平成23年度～
- ・町内会の高齢者クラブを個別に訪問。



4 バスのサービスとして、バス車内で町内図書館の図書を返却可能に

バスのサービスとして、バス車内で町内2か所の図書館で借りた本をバスの車内で返却できるサービスを実施しています。



5 てんぷら油でバスを運行しCO2削減・運行経費削減に貢献

環境に配慮したバス運行を目指し、廃食用油(てんぷら油)から精製したバイオディーゼル燃料により、バス運行を実施しています。さらに、ふれあいバス車内・町内のスーパー・公共施設等で町民から廃食用油を回収するシステムを構築し、この取り組みは、削減された二酸化炭素を取引する環境省のJ-V EER事業にも認定されています。



1 無料送迎バス等の一元管理により、効率的なバス運行を実現

路線バス・福祉バスと医療系大学の患者・学生、特定の地域住民のみが利用可能な民間送迎バスを一元管理することで、誰でも利用可能な公共交通として整備しました。

平成21年度
国土交通大臣賞受賞



路線バス・福祉バス (一般住民)	医療機関等送迎バス (患者・学生)	地域限定住民送迎バス (限定住民)
一元化 平成18年4月より実証運行開始		

当別コミュニティバス「当別ふれあいバス」
(特定の対象者なし)

2 平成17年度(コミバス運行前)より住民に対し、ニュースレターでコミュニケーション

バス運行の検討段階から『どうべつバス通信(ニュースレター)』で検討過程や調査結果を町民に周知してきました。



●平成17年度～平成22年度に発行したニュースレター

●利用者感謝ツアー

- 実施期間：平成22年度～
- ・ふれあいバス利用者を対象にプロ野球の応援ツアーなどを開催。



●ふれあいバス運賃無料キャンペーン&当別町クイズラリー実施

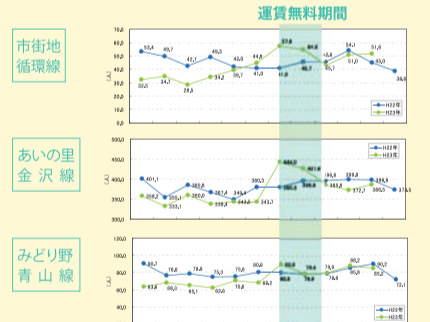
- 実施期間：平成23年9月23日～10月10日
- ・ふれあいバスの全路線の運賃を18日間に渡って全て無料とし、乗車したことがなかった人に対し、経験誘発を期待。
- ・運賃無料キャンペーン中に、ふれあいバスを使って移動してもらえよう、当別町クイズラリーを並行して実施。
- ・キャンペーン期間中は、利用者数が大きく伸びているものの、終了後の冬期は、悪天候で欠便が相次ぎ、利用者数が低迷。

[周知・PR]

広報や新聞、HPを活用したほか、住民MMや子ども向けMM教室と連動



[運賃無料キャンペーン期間中の利用者数]



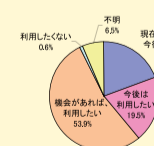
●当別町バスまつりの開催

- 実施期間：平成21年度～
- ・バスの試乗やイベント企画などにより、当別町民がバスに触れる機会を提供。
- ・普段、乗車することができないバスの展示・試乗や交通すごろくの体験など、様々なイベントを実施。
- ・駅伝大会など、地域のイベントと連動。



[効果検証(来場者アンケート)]

Q.今後、当別ふれあいバスを利用してみたいと思いませんか?



Q.今後このようなバスまつりが開催された場合、参加しようと思いませんか?

